

愛知県渥美半島 大山での陸上自衛隊ヘリコプター訓練問題 を考える

責任者 大羽 康利 伊良湖・大山検討会 & 渥美自然の会

猛禽類・小鳥類の重要な渡りの経路となっている愛知県渥美半島・渥美山塊の最高峰「越戸大山」山頂(328m)に陸上自衛隊航空学校がヘリコプター離着陸訓練場を計画している。

日本鳥学会は2004年度の総会で、この計画に対して「再検討を求める要望書」を決議し、防衛庁・防衛施設庁長官、環境省大臣などに提出した。要望書は「生物多様性や自然環境保全に十分配慮した新たな検討を行うことが妥当である」とされている。

大羽等8名は05年5月12日、名古屋防衛施設支局及び航空学校に対し、要望書作成に当たって参考にされた資料等を紹介しつつ「再検討を求め」る話し合いを持ったが、これまでのところ当局の十分な認識は得られていない。

(注 この話し合いは環境省中部地区自然保護事務所及び愛知県自然環境課の担当者も同席して行われたものである。)

今後、ヘリコプター訓練が伊良湖・大山周辺で各種鳥類・ほ乳類ごとにどのような影響を与えると予想されるかの表・資料を作成し、再度の話し合いを持つ予定である。

本自由集会では「04年度要望書」で述べられた論点ごとに、その後の追加調査を含めた資料を紹介した後に、上記「影響を与えると予想されるかの表・資料(案)」について、関心を持たれる鳥類研究者他から忌憚のない意見を伺い、今後の伊良湖・大山のあり方を考える一助としたいと考えている。